

MCI スクリーニング検査

～認知症前段階のリスクを評価する血液検査～

◇MCI（軽度認知障害）とは？

認知症の前段階のこと。

日常生活に支障はありませんが適切な予防を行わずに過ごすと、**5年で半数以上の方が認知症に進行する**と言われています。

◇MCI スクリーニング検査プラスとは？

アルツハイマー型認知症のリスクである血管の老化や炎症、またはアルツハイマー型認知症発症の原因のひとつといわれている「アミロイドβ」の排除機能をもつタンパク質を測定することで、**MCI（軽度認知障害）のリスク**を判定します。

◇MCI スクリーニング検査プラスの特徴

- ・一度の採血（5mL）で、以下のリスクの検査ができます。
 - ① アルツハイマー型軽度認知症のリスクを判定
（認知症の発症に関わるタンパク質の量を測定）
 - ② タンパク質の4つのカテゴリーに分けてリスクレベルを判定
（栄養群、脂質代謝群、炎症・免疫群、凝固線溶群）
- ・40代から受診が可能で、早期発見・早期対応が可能。

◇検査実施日・時間

検査を単独で希望する場合：毎週 火曜日～金曜日 午前7時30分～

健康診断・人間ドックのオプションで希望する場合：健康診断日と同日・同時間になります

◇申込方法

- ・検査をご希望の方は事前に予約が必要です。
- ・健康診断、人間ドックのオプションで希望される方は、健康診断予定日の前週火曜日までお申し込みください。
- ・1日の受入れ人数に制限がありますので、ご希望の日に添えない場合がありますので、ご了承ください。

申 込 先：医事情報課 医事情報係

0237-42-2111（内線2206）

受付時間：平日8時30分～16時00分（土日祝日は受付をしておりません。）

☆検査結果の判定に影響する可能性のある疾患について

- ・自己免疫性疾患をお持ちの方
- ・急性炎症が認められる方
- ・肝硬変の方
- ・先天的に脂質異常の方

〈よくあるご質問〉

*受検に適した年齢は？

- ・中年期（４０代～）以降の方にお勧めします。発症の約２０～２５年前から脳内の血管損傷や炎症が原因で「アミロイドβ」の蓄積が始まるため、自覚症状がなくても受検をお勧めします。

*実際に認知症がわかりますか？

- ・アルツハイマー型認知症の前段階であるMCI（軽度認知障害）のリスクを測る検査であり、検査結果は予防のヒントです。

*凝固線溶とは？

- ・血液は、血管内を流れている間は決して固まることなく、酸素と栄養分を身体の隅々まで運ぶ役割をしています。しかし血管が傷つき出血すると、固まり始め、出血部位に止血栓を作って出血を止めます。そして、止血が完了すると止血栓は溶けてなくなり、血流は回復します。この一連のプロセスで中心的な役割をしているのが止血するための凝固因子、そして[血栓を溶かすための線溶因子](#)です。

*検査結果はどのくらいでわかりますか？

- ・受検日より約２～３週間必要です。

*検査数値が良かった場合は？

- ・現在の生活習慣を維持し、年齢を重ねるごとに予防を心がけ、定期的なMCIスクリーニング検査プラスの受診をお勧めします。

*検査数値が悪かった場合は？

- ・６５歳以上で物忘れが気になる方は[当院の「脳神経内科」の受診をお勧めします。](#)また、検査結果に同封されている「認知症予防マニュアル」を参考に予防に取り組んでください。

*脳神経内科の受診を希望する場合はお電話で予約ができます。

予約申込先：医事情報課 医事情報係

０２３７－４２－２１１１（内線２２０６）

受付時間：平日８時３０分～１６時００分（土日祝日は受付をしておりません。）

その他：

医師との調整が必要となるため、予約日確定に多少のお時間を要します。